

7月22日 国土交通行政関係功労者表彰を受賞しました！

このたび、「芥川・ひとと魚にやさしい川づくりネットワーク～愛称：芥川倶楽部～」として、令和元年7月22日に近畿地方整備局長から国土交通行政関係功労者表彰における河川愛護等功労者表彰を受賞しました。

今回受賞した「河川愛護等功労者表彰」は、5年以上河川の美化、愛護等に継続して従事した個人や団体を表彰するもので、大阪合同庁舎1号館で表彰式が執り行われました。

河川の美化活動や市民参加型イベントの実施など、芥川の美しい景観や憩いの空間の提供、地域の良好な河川環境の創出に貢献してきた長年の芥川倶楽部の取組を評価していただいたものです。

この表彰を励みに、今後も芥川の河川愛護を継続していきたいと思っております。



8月27日 国交省功労者表彰の報告で濱田市長を表敬訪問しました！

芥川倶楽部の活動のなかで、完成した魚みちについて、今年のアユの遡上などについて報告しました。

市長からミスヒマワリの駆除について質問があり、城西橋から上流はほぼ絶滅できたが、パトロールは継続しなければならないこと、白い花が咲く頃でないと駆除は難しいことを説明したところ、続いてミスヒマワリを好む蝶々アサギマダラの生態について質問されました。タウン・ミーティングのときに「ミスヒマワリの動画」を見てもらった印象が残っていたのでしょうか。

今後、下流の方も淀川河川事務所と協力して分布調査を効率的に進めたいという意向を伝えるとともに、ドローンを用いたミスヒマワリ調査の協力を市へお願いしました。



これからのイベント予定 ★詳細は芥川倶楽部のブログをチェックください！

令和2年3月7日（土） 淀川・芥川クリーンアップ大作戦
時間：午前10時～12時（予定）
区間：塚脇橋～淀川河川公園（大塚・三島江地区）

芥川倶楽部では、川づくりや各種イベントと一緒に参加してくれる方を募集しています。
イベント等の情報は芥川倶楽部ブログで、紹介していますので、ぜひご覧ください。

ブログ : <http://akutariv.blog85.fc2.com/> HP : <http://akutagawaclub.web.fc2.com/>

e-mail : akutagawa0726@yahoo.co.jp

～～～「芥川」はみんなの川です 「芥川」をきれいにしましょう ゴミを捨てないようにしましょう ～～～

あなたと自然が触れ合える芥川の情報誌

芥川水辺だより



Vol.35
2019年
秋号

小わざ魚道をドローンにて撮影

7月6日 令和元年度定例総会を開催しました！

芥川倶楽部は、多くの方々のご支援・ご協力により15年目を迎えることができました。

今回の総会では、大阪工業大学名誉教授の綾史郎先生にご講演いただきました。また、昨年度の事業・会計報告、そして今年度の事業計画と予算案について審議し、承認されました。

年々、活動範囲を広げ、定例の環境学習や観察会、清掃活動、広報誌へのコラム掲載により、芥川の魅力を市民の方に広く伝えることができています。今後も精力的な活動を続けていきたいと思っております。なお、役員体制については、以下のとおり議決されました。

●令和元年度役員
代表 田口 圭介
副代表 千田 憲二郎
山本 忠雄
会計 山崎 栄子
会計監事 中川 修一



定例総会の様子

編集・構成：芥川・ひとと魚にやさしい川づくりネットワーク～愛称：芥川倶楽部～

事務局：NP0法人芥川倶楽部 ホームページ <http://akutagawaclub.web.fc2.com/> ブログ <http://akutariv.blog85.fc2.com/>
令和元年（2019年）11月 発行：高槻市 都市創造部 下水河川企画課 TEL 072(674) 7432

●芥川・ひとと魚にやさしい川づくりネットワークは河川協力団体（国（近畿地方整備局）第2号）に認定されています●

6月25日 7月3日 7月10日 「水辺の楽校」を開校しました！

「水辺の楽校」とは、子ども達に身近な水辺で魚とりや昆虫採集等を行い、地域の生物環境を学ぶとともに、河川防災学習により、安全に楽しく川に親しんでもらうプログラムで、大阪府茨木土木事務所が高槻市環境緑政課（現・農林緑政課）、たかつき環境市民会議水環境保全グループ、芥川倶楽部、高槻市立自然博物館（あくあびあ芥川）と連携して実施しています。

今年度は、南平台小学校3年生69名、真上小学校4年生83名、芥川小学校4年生152名を対象に開校しました。

茨木土木事務所の水辺の楽校は、まず、小学校で出前授業を行い、川の仕組みや川の危ないところ、川で遊ぶ時の注意点などを学ぶことから始まります。川は楽しいところですが、流れもあり深さも一定ではないこと、雨が降ると一気に増水して川の様子が変わってしまうことなど、危ないところであることも知ってもらい、安全な川の利用に対する啓発を行っています。



川の危ないところを知り、川で遊ぶ時に注意することを学びます



石の下に魚が隠れているかな？



みんなで協力して、追い込み漁に挑戦！



魚のことを教えてもらいました



たくさんの魚に出会えました！

9月12日 ミスヒマワリパトロールを実施しました！

2019年度芥川大橋下流域のミスヒマワリパトロールを、芥川倶楽部、たかつき環境市民会議、国土交通省、高槻市等、市民と行政の共同で実施しました。

参加者は総勢9名で行い、パトロールは右岸、左岸2班に分かれ、堤防上及び高水敷から目視、双眼鏡でミスヒマワリ繁殖の確認を行いました。

パトロールの結果、15カ所の繁殖を確認でき、繁殖状況は昨年に比べ大きな変動は見受けられませんでした。この流域は国土交通省の駆除管轄範囲であり、淀川河川事務所の課長、高槻出張所の所長も参加され、現状の繁殖状況を確認して頂きました。今後もパトロールを通し駆除に繋げて頂き市民レベルで協力出来る所は共同で駆除に取り組んでいきます。

今年度の城西橋→芥川大橋間のミスヒマワリ駆除実績は、女瀬川と芥川の合流域で5月、9月の2回実施しました。繁殖場所は3か所で駆除量は53kgです。今後もこの区間の撲滅を目指し駆除をしていきたいと思ひます。



右岸護岸ブロックの繁殖



新幹線橋梁付近にて

4月22日～7月14日 ～アユの遡上調査結果報告～

芥川大橋上流の魚みちでの遡上調査も今年で8回目です。

4月22日から7月14日まで摂南大学、たかつき環境市民会議の皆様をはじめ多くの方々に協力いただき、ボランティアによる目視調査を行いました。今年は、淀川への遡上数が約40,000匹と少なかったものの、芥川では淀川の調査が終了した6月末の3日間で1,100匹以上が遡上、調査期間中にカウントしたアユの数は約2,600尾、推定遡上数は約5,300尾という結果になりました。

今年度は、遡上時期に濁水や工事の影響で厳しい時期が長く、今も中流域で堆積土砂を取り除く工事が進んでいますが、多くのアユが今年できた魚道で上流まで遡上し、良い環境で生育していることを願っています。



遡上調査の様子

アユの調査年度別推定遡上数

調査年度	推定遡上数
平成25年	6,300尾
平成26年	2,300尾
平成27年	6,800尾
平成28年	17,000尾
平成29年	8,100尾
平成30年	7,700尾
令和元年	5,300尾

10月5日・6日 第12回いい川・いい川づくりワークショップin滋賀・京都 ～準グランプリに選ばれました！～

10月5日（土）、6日（日）の2日間、滋賀県大津市でワークショップが開かれ、九州から北海道まで36団体が参加しました。はじめに全体発表会があり、各団体が3分間で活動内容を発表しました。芥川倶楽部は「こだわりの技かわ音を奏でる石の魚みち」をテーマに、石の魚みちの仕組みと効果、行政と市民の連携、行政の関わりと魚みちの評価・今後の魚みちの展開などについて報告しました。このあとテーブル選考、2次選考、復活選考、最終選考を経て各賞が決められます。

参加団体が7つのグループに分かれたテーブル選考では、全体発表で伝えきれなかったことを説明し、テーブルコーディネーターと6人の選考委員からの質問に答えました。テーブル選考で私たちの活動が評価され、他のテーブル選考で選ばれた計14団体が2次選考にノミネートされました。

参加団体やコメンテーターなど全員が参加した2次選考会では再度活動内容を3分で報告。その結果、2次選考、最終選考でも評価され、他の1団体とともに準グランプリに選ばれました。私たちの活動が評価されたポイントは、おおむね次のようになります。

- こんな魚道は初めて見た。行政と地元が一緒になり、いい川つくるうぜ、の思いが伝わる。
- 魚道のスロープが異なるので魚はルートを探してのぼることができる。興味深い。
- 行政と市民の長い信頼関係がベースになっている。
- 芥川倶楽部の活動を通じて、行政は“変える”ことを恐れてはいけないことが伝わった。
- 芥川倶楽部、子どものような大人がいる。

発表をとおして、石の魚みちが広がることの期待や行政関係者の関心が高いことを感じました。これを機会に石の魚みちの普及に貢献しなければと思います。

なお、グランプリは神戸市立玉津第一小学校の生徒が発表した「明石川を守る～清き流れの明石川を育むために～」の玉一アクアリウムでした。子ども達の熱意には勝てませんね！



2次選考会での報告



表彰式



準グランプリ表彰状